

(様式2-2)

## 令和7年度「明日も行きたくなる学校づくりプロジェクト」事業 成果報告書

### 1 指定校・指定校群 ( 三豊市立山本小学校 )

### 2 実施の内容

#### (1) いじめ等のない安心して学べる学校づくり

児童会役員3名が、8月18日に開催された「いじめゼロ子どもサミット2025」に実行委員として参加した。事前の会から参加して、サミットの企画・運営にも携わり、そこで学んだことを12月9日に実施した「なかよし集会」で全校児童に広めた。「見方を変えて短所を長所にしよう」という活動では、全校縦割りグループに分かれて実施した。友だちや自分の良さを再発見するスキルを身に付けることを通してみんなが笑顔になり、自尊感情の高まりを感じることができた。

また、児童会役員1名は、1月に文部科学省で開催された「全国いじめ問題子供サミット」にも参加し、県の代表3名で協力して香川県の取組を発表した。他県の児童生徒の発表を聞いたり交流をしたりして大いに刺激を受けて帰ってきた。

#### (2) 心の小さなSOSの早期発見・早期対応

本校には、通級指導教室が2学級あり、現在、2人の通級指導教員が在籍している。今年度もすべての子どもが安心して学べる山本小学校を目指し、児童と教職員への指導を行った。休み時間には、多くの児童が教室を訪ね、通級指導教員とのかかわりに心の安定や安らぎを感じている様子であった。すべての教職員が児童理解を深め、適切な支援を行うことができるように今年度も「特別支援教育だより」の発行や若年教職員への助言を行った。

教職員研修として、伊予市教育委員会で巡回教育相談員をされている矢野多美子氏を校内研修にお招きして講話を拝聴した。「不登校を考える～子供との関わりの中で学んだこと～」と題して、不登校の要因や不登校傾向の児童生徒への対応をはじめ、校内連携の取組や脳の仕組みまで、幅広く学べる機会となった。安心できる居場所づくり、約束はしないで目標を決めること、教職員が一人で抱え込まないなど、重要なことを再確認することができた。

#### (3) 児童生徒が不登校とならない、児童生徒にとって魅力ある学校づくり

9月下旬から10月初旬にかけての昼休みに、運動能力の基礎となる6つの種目をクリアしてゴールまで走り抜けた記録を計測する「山本小 SASUKE」を行った。記録は、低・中・高学年別にランキングにして、児童玄関へ掲示している。児童の励みになり、よりよい記録を目指そうとする児童や友だちと競う児童もいる。記録計測は6年生が行い、並走しながら応援の声かけや上り棒のサポートなどを行っている。それにより、異学年での交流や高学年へのあこがれにもつながっている。

1学期のなかよし集会で児童会が呼びかけ、全校生が気持ちよく生活できるように友だちの名前に「さん」をつけて呼ぶことに取り組んだ。多くの児童が「さん付け」で呼ぶことができたなら「さんさんコンサート」という発表会を行うことをゴール（ご褒美）とした。2学期の一定期間「さん付け」の達成率を各学級で調べ、「さんさんコンサート」を実施することができた。このコンサートは誰でも参加することができ、自由に自分を表現する場になっている。希望する児童は、歌やダンス、コントやファッションショーなど、様々な出し物を発表した。発表した児童はどの子も満足そう、参観者は友だちの新たなよい面を発見することができた。

### 3 成果

## (1) 児童生徒の自発的・主体的な活動の様子

いじめや不登校のない楽しい学校を目指して、全校生が、学校に来たくくなるような行事を児童会が中心になって考えて実践した。今まで実施していた活動でも、できる限り児童会主体の活動に変えようと努力した。子どもたちが目標を決め、達成した時の楽しいイベントを考え、児童会が中心となって全校児童へ呼びかけることで、自分たちでやり切った充実感を味わうことができた。

また、1年間で「欠席0の日、10日達成」という目標を児童会から全校児童に投げかけ、達成できたら全校児童で「全校鬼ごっこ（逃走中）」を開催するという計画を立てた。病気や体調不良で欠席する児童が多い中、児童会が欠席児童に負荷をかけない程度に時々全校児童に呼びかけ、3学期に「欠席0の日、10日達成」達成することができた。



【さんさんコンサート（11月）】



【なかよし集会（12月）】



【全校鬼ごっこ（2月）】

## (2) 総括

- ・ 児童会から様々な活動を発信することで、「児童会が呼びかけているから頑張ろう」「楽しいイベントができるからその目標に向けて頑張ろう」など、頑張る児童の姿が見られた。児童主体の活動を仕組むことで、教師が発信するよりも全校児童がより仲良くなり、心が一つになったように感じた。
- ・ 児童会3名が「いじめゼロ子どもサミット 2025」に実行委員として参加し、他校の児童会、生徒会の人たちと交流することで、視野が広がり、仲間づくりに対する考え方や、人前での発言の仕方など、様々な面で大きく成長することができた。
- ・ 教職員研修として、伊予市教育委員会で巡回教育相談員をされている矢野多美子氏を校内研修にお招きして講話を拝聴したことで、登校を渋る児童への対応や支援の必要な児童への関わり方について、基本的な考え方を共通理解することができた。
- ・ 本校で毎月実施している「なかよしアンケート」で、「学校が楽しくない」と答える児童が5%程度いる。児童会主体の様々な活動を行っても大きく変容することはなかったが、今後も児童会主体の楽しい活動を続けていくことで「明日も学校へ行けば、楽しいことがある、自分が成長できる」という前向きな気持ちをもって登校できる児童が増えてくれることを期待している。